

新製品 新技術紹介

ユニットヒーター 高安 彰

株式会社 SPF 代表取締役社長
〒467-0862 名古屋市瑞穂区堀田通 5-1
TEL: 052-871-4121 FAX: 052-872-1397
URL: <http://www.spf.co.jp>



で警告・デジタル自動温度管理システム等の安全設計です。

- 機能・操作性
コンパクトな構造・シンプルな外観で操作は制御盤外で行なう事ができ、ヒーターの状態と液の温度をチェック可能としています。ヒーターは取り換え式で、その場で簡単にスペアと交換できますので、作業工程への影響を最小限に抑えます。

はじめに

弊社はレアメタルのチタン・ジルコニウム・ニオブ・タンタル等の耐食金属を使用し、トータルコストの削減や、メンテナンス負荷を軽減するソリューションを提案し、ソリッド（単一金属）、クラッド（異種金属接合）機器製品を製造し、化学工業会と表面処理業に提供しているメーカーです。ここに紹介する「ユニットヒーター」は自社ブランド製品であり、以下にその内容について説明します。

概要

全てのメッキ浴の管理にその威力を発揮する、槽外加熱方式を採用した電気加熱式熱交換器で、各種薬液の加熱と液温管理に優れた

全自動電気加熱式装置です。

装置の特徴

- 液に応じて選べる材質
接液部には耐食金属を使用し、金属ならでの耐食性と・堅牢性があります。
- 省エネルギー
ヒーターはレアメタル製シーズヒーターを採用し、液中にヒーターを直接入れる事により、ヒーターの熱効率にロスがない省エネルギータイプに設計してあります。
- 安全性
空焚き防止機能・ヒーター故障時には、断線箇所をメインパネル上に表示して、パネルに故障したヒーターの番号をアラーム

今後の製品展開

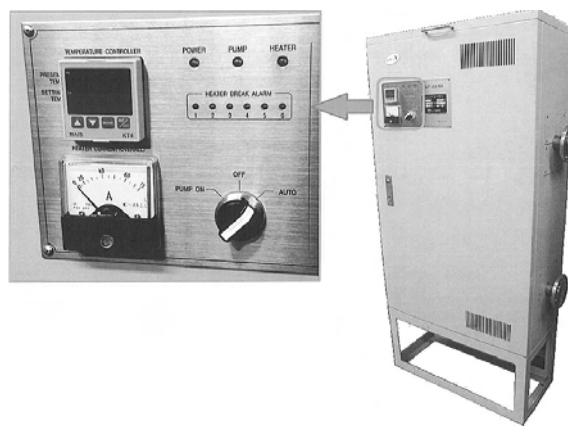
液晶画面を構成する半導体デバイスの高集積化・高速化など、基盤技術の改良がめざましく液晶パネルの高輝度化が進み、この液晶画面を構成する導光板の加工に電鍍（電気メッキで金属製品を生み出す）技術が使用されます。温度管理が最も重要とされる電鍍において、ユニットヒーターがさらに適応できるように製品開発を目指したいと考えております。



省エネルギーを図るため新製品を開発した



接液できるヒーターを採用し、熱効率がUPした液体加熱器



シンプルなパネルでヒーターの状態を液温が全て分かる